



20周年記念誌編集中



20周年記念誌編集委員会は、ただ今校正の真っ最中。「そこは平仮名で書くべきでは?」「順序が逆の方が分かり易い」「年数が合わないんじゃない?」等々、議論百出、白熱の会議です。20周年記念事業開催に合わせて配布できるように頑張っています。以下に全体の構成をお知らせします。

第1部 さやま市民大学にいたるあゆみ

狭山シニア・コミュニティ・カレッジ (SSCC) から、狭山元気大学、さやま市民大学に至るまでの道のりを振り返ります。狭山市に大人のための市民大学が出来る時の裏話や、SSCC元リーダーによる当時の思い出話も何講座かお聞きしました。資料として開講講座毎の入学者数一覧も掲載しています。

第2部 同窓会

同窓会発足の経緯、同窓会の多様な活動、現在の活動部会の紹介です。新たなクラブ加入の参考にもなります。

第3部 同窓会に期待する

2017年に行った会員アンケートの結果、同窓会設立や活動部会の活動に深く関わってきた方々の座談会、SSCC学長を長年勤められた嵯峨座先生への、いきがい学科第9期生によるインタビュー記事を掲載しています。座談会では同窓会設立の経緯から、受講の思い出、次世代に望むものなどが語られています。

● 散歩のテーマは 無限に… ●

最近、巷に氾濫している「断捨離」「終活」とは、いったい何だ。「そろそろご臨終が近いですよ」と催促しているように思えるのだ。大きなお世話だ。画家・作家・音楽家・写真家などは人の魂を揺さぶる感動を提供し、それにより高齢者は生きている実感を享受している。高齢者の不安を煽って、もうけている輩は、見過ごせない。許せない。

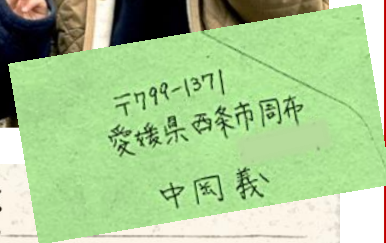
コロナ禍のため、積極的に外出して人に会ってはいけない世の中になった。何時まで続くのか五里霧中だ。座して人生を終えるのは、本意ではない。人生の終着点を意識し始める年齢になると、誰もが平均寿命と健康寿命との差を限りなく零に近づけたいと思うようになる。人間以外の動物には、介護と言う行為は存在しない。自立出来ない状態になれば、野垂れ死にである。人間は幸か不幸か臨終に至るまで人と繋がって、手厚い看護(?)の下で生き延びられる。ところが、得体のしれないコロナウイルスの出現により、繋がりが遮断されようとしている。鳥インフルエンザ等で大量に穴に



葬られる映像が脳裏をよぎり、悪寒を覚える。英知を集め、一刻も早くコロナウイルスを克服し、温かみ溢れる人との繋がりが可能な通常の世の中を望みたい。

人間の他に交流でき、満足感が得られる対象を無我夢中で模索した。今までも、無意識に行ってきた散歩にその価値を発見した。市内の道、裏の路地、近隣に通じる道を散歩し、新しい発見をする。道端の草木の香り、小鳥の鳴き声、昆虫との出会いを機に、名前や習性を調べる。大自然の奥深い営みに改めて驚かされる。今は、入間川、霞川などの遊歩道が何処まで続いているのか、源流はどこかなどをテーマに散歩している。ネットや地図で調べれば直ちに解るが、現場に行かないと味わえない空気感、大自然とのふれあいは、何にも替え難い。出かける度に、新鮮な発見があり、楽しみが増す。散歩のテーマは、無限にありそうだ。 (Mさん)

どうお過ごしでしょうか？ 心温まる第3弾です



中岡義さま

はじめまして。
ぼくの名まえは、中岡義です。
ぼくの名まえをパソコンで
しらべると、あなたの名まえが
出ました。
ぼくとおなじかんじの名まえの
人かいるんだなどおもってうれ
しかったです。あなたの名まえは
どんな読みかたですか？
ぼくは、なかおか ただしです。
ぼくは、小学一年生でえひめ
けんに住んでいます。
小学三年生のおねえちゃん
とバスに乗って、田たき小
学校に行っています。
ぼくは、ようかいが大好きで、
いっしょにやろうとしたい
です。ぼくは、おねえちゃん
とバスに乗って、田たき小
学校に行っています。
ぼくは、ようかいが大好きで、
いっしょにやろうとしたい
です。ぼくは、おねえちゃん
とバスに乗って、田たき小
学校に行っています。

中岡義

● 四国の中岡義くん ●

2021年3月1日、拙宅の郵便受けに小生宛ての封書が届き、差出人は愛媛県西条市の「中岡義」とあった。封書は女性文字なので、ドキッ！ はて、何だろう。何かの悪戯？ 急いで封を切ると、子供の字で左掲の書状が入っていた。驚いた。小生と同姓同名の小学1年生が、パソコンで自分と同じ姓名の私を発見して、小生に手紙を書いてくれたのだ。そして、「義」の読み方を尋ねてくれたのである。読みも「ただし」で、【ぼくとおなじかんじの名まえの人がいるんだなどおもってうれしかったです】とある。『うれしかった』というこの75も歳下の少年の感性に、こちらも同じ思いで、うれしかった。感動ものだった。不思議な気持ちから、すぐに喜びに変わった。この好奇心旺盛な小1生に好感を持った。直ぐに返信を書いた。

『日本苗字大辞典』（丹羽基二編・監修 芳文館）によると、日本人の名字（苗字）の総数は全国に30万種あるそうだ。また、日本の名字の99%以上を網羅するとされる「名字由来ネット」によると、「中岡」姓は全国各地に17,000人ほど存在し、人口の多い順で1,057位とある。1億2千万人口の0.14%、1万人に1.4人の割りだ。都道府県別の上位6は大阪府（2,800人）、広島県（1,600人）、愛媛県・兵庫県（1,200人）、奈良県（990人）、和歌山県（970人）で、埼玉県（250人）は18位。市町村別では和歌山県橋本市（300人）がトップで、小地域順位では同市隅田町山内（110人）が最多である。ここは小生の生地だ。小学生のときに隣の集落と合わせ同級生33人中の7人が中岡姓だった。なお、埼玉県狭山市は10人、愛媛県西条市は20人いることに。

（注）以上の数値と多少異なる情報源もある

つまり、「中岡」姓は決して珍しくはなく、古くは中岡慎太郎は高知だし、現役芸人の中岡創二（ロッチ）は奈良県だ。問題は名前の「義」で、読みが「ただし」である。小生の人生で、「義」1字の名前は十数人知っているが、「ただし」は1人しか確認していない。愛媛に「中岡義」の存在がわかって、最高の喜びを味わっている。（中岡さん）

■ 埼玉の「中岡義」からの返信（3.2発）

えひめの中岡義くんへ。
こちらも、はじめまして。
びっくりしました。
おてがみをいただいて、はじめはふしぎなきもちでしたが、すぐにうれしくなってきました。ほんとうにうれしかったのです。
私の名まえも「ただし」とよみます。きみとおなじです。
私は81さいの年よりですが、これまで生きてきて、せかいじゅうに、自分とみょうじも名まえもおなじ人がいるとはしりませんでした。たいへんなおどろきでした。
名まえに「義」という人がいることはしていましたが、そのうち「ただし」とよませるのはひとりだけでした。
私が生れたのは、わかやまけんで、おおさかふとならけんのさかいにあるいなかでそだちました。そこには「中岡」というみょうじがおおく、小学校のどうきゅうせいに7人もいました。
私は子どものときは「ただちゃん」とか「たらちゃん」などとよばれ、しゃかい人になってか

らも、したい人からは「ギーちゃん」とか「ギーやん」とよばれていました。
それにしても、パソコンでしらべて、自ぶんとおなじ名まえの人がいることがわかり、そのことにきょうみをもって、てがみをだしてみようとおもわれたことは、とてもだいじで、よいことです。
なにごとにもきょうみをもち、かんしんをしめすことは、これからのべんきょうでもだいじなことです。そのきもちはずっともちつづけてください。
私にのこされたいのちはあとわずかしかりませんが、そのあとも「中岡義」という名まえの人が、せかいにひとりいるということは、こころづよくうれしいかぎりです。
どうか、「ようかい」だけでなく、いろいろなものにきょうみをもって、おねえちゃんといっしょに、べんきょうをがんばってください。
それではおげんきで。ありがとうございました。さようなら。 さい玉の中岡義から。
2021年3月2日

■ 同封されたお母さんからの返信（3.8発・抜粋）

この度は、突然の手紙にもかかわらず、息子にお返事をいただき、ありがとうございました。また、私宛ての「義」の漢字の成り立ちや、それが持つ意味を大変興味深く拝読いたしました。
義は自分の名前の漢字に関心を示し、意味を調べるとますます興味を持ったようです。インターネットで同姓同名の方が埼玉県にお住まいと知った時は、とても嬉しく興奮しました。
義は色々なことに興味を持ち、気になったことは調べてとことん突き詰める性格で、手紙を書きたいと言い出した時は、ご迷惑かと思いつつもながらも応援してやりたくなりました。
思ってもみないお返事が届き、義にとっても家族にとっても、与えられた名前を大事に、人として成長していかねばいけないと、襟を正す

機会となりました。これからの人生にこの貴重な経験が生かされると、感謝の気持ちでいっぱいです。
子ども達は田滝小学校という校区に関係なく通学できる学校に、校区外から通っています。全校児童13人という小規模校ですが、先生方との距離が近く、地域の方々に見守っていただきながら元気に過ごしています。
学校でも埼玉の中岡義さんからのお手紙は大ニュースで、担任の先生や校長先生がとても喜んでくださり、2つ上の姉ともども誇らしげでした。
早春の息吹を感じるこの頃、どうぞお健やかに過ごしてください。今後ともご縁がございましたら嬉しく思います。 （中岡育恵）